

ペンギンの行動

羽のお手入れは

水から上がった後によく羽のお手入れをしています。くちばしや足を使って羽の間
の水分を取りのぞいたり、おしりの近くから出る油を全身にぬっています。油は水
をはじくので水が体までしみず、冷たい水の中で長い時間過ごしても体が冷えない
のです。

なかよしのペンギンは

ペンギンは、人と同じように多くの場合、オスとメスのつがいで子育てをします。子育て
の季節になると、つがいの2羽がいっしょに過ごし、鳴き交わす姿が見られます。
動物園や水族館では、1年中つがいで過ごすこともあります。

巣穴は

コウテイペンギン、オウサマペンギン以外のペンギンは巣を作って、そこに卵を産み、
温め、ヒナを守ります。巣を作る場所や材料、巣の形や大きさは、種類によって違
っています。暖かいところで暮らすフンボルトペンギンの仲間は、強い日ざしを避け
るため木の根元などに穴を掘って巣を作り、子育ての季節以外も巣穴の中で過ごす
こともあります。

泳ぐ時には

ペンギンは、つばさを上下にはばたかせて飛ぶように泳ぎます。このため、つばさは、
水をかいた時に前に進みやすいように平らで幅が広く、ボートのオールのような形
になっています。また、足は泳ぐのに邪魔にならないよう体の後ろの方に付いてい
て、方向を変える時には舵のような働きもしています。

水にもぐる時には

ペンギンをはじめ鳥の仲間のまぶたの内側には、「瞬膜」という伸び縮みする膜があ
り、車のワイパーのように動いて、涙といっしょにゴミやほこりなどを取り去ります。
また、瞬膜は、水に潜る時には目の表面をおおい、目を守っています。

魚の食べ方

ペンギンは、鋭いくちばしの先をエサの魚などに突きさしてつかまえ、頭の方から
食べます。魚のひれ、うろこ、ぜいごが頭から尾の方へ向かって生えているため、
頭の方から食べないとのどにひっかかってしまうからです。